

講義科目 : 社会保障論Ⅱ	単位数 : 2
担当 : 田中 武士	学習形態 : 選択科目 社会福祉士必修科目

講義の内容・方法および到達目標

「社会保障論Ⅰ」において社会保障の歴史、社会保障の体系等を学んだ学生を対象に、公的扶助（生活保護）との関係性、社会政策の構造的理解の促進を図り、社会保障のそれぞれの制度や施策に対する理解をさせる。

また、ソーシャルワーカーとして社会保障の最低限の知識、知見を身につけるとともに、社会保険の中でも介護保険、医療保険を中心に現行制度の把握ができるようになることを目標とする。

なお、「社会保障論Ⅰ」を履修し単位取得した者のみを対象とします。

授業計画

第1回	社会保障の成立過程
第2回	年金保険と民間保険
第3回	公的年金保険の役割
第4回	公的年金と生活保障
第5回	公的扶助との関係性から社会保障を理解する
第6回	最低賃金との関係性から社会保障を理解する
第7回	社会政策と社会保障
第8回	社会政策の意義と役割
第9回	地域包括ケア構想と介護保険
第10回	介護保険制度の創設
第11回	介護保険制度の意義と役割
第12回	介護保険と医療保険
第13回	医療・介護をめぐる政策動向を知る
第14回	地域における医療・介護と生活拠点
第15回	これからの社会保障（地域共生社会のあり方について）

*受講生の状況等によって進行速度を調整するため、内容を変更することがあります。

教材・テキスト・参考文献等

参考資料等は適宜、配付する。

参考文献) 『地域の病院は命の砦』自治体研究社、2020年
『いま地域医療で何が起きているのか』旬報社、2018年
『新しい国保のしくみと財政』自治体研究社、2017年

成績評価方法

- ① 毎回の講義時の小レポート（40％）
 - ② 小テスト（2回程度）（20％）
 - ③ 定期試験（40％）
- 上記の①から③を総合的に評価する。

*「社会保障論Ⅰ」を履修し単位取得した上で、本科目を履修してください。